

廃食用油活用事業について

< 資料 2 >
平成28年10月11日
環境市民会議資料
環境政策課

第四期環境基本計画

「スマートシティの推進」

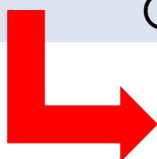
重点項目2 エネルギーの地産地消

創エネのための具体的手段のひとつとして、家庭から出る廃食用油をエネルギー（燃料）として活用するスキームを構築する

《現在の廃油回収状況》

拠点回収（市役所と4コミセン）

- 2か月に一回実施
- 回収量 1,437リットル 以前より減少。
- 回収したものを3円/ℓで再生業者に販売している
→業者はBDFとして活用。
- 民間で集めている事例もある。

- 
- * 改めて注目。現在の事業を再編しながら、回収量を増やし、創エネルギーとして活用する方策をさがす。
 - * 市民とともに検討し、市民の中のエネルギーへの関心を高める。

事業スケジュール予定

◇ 1期 (28.5～7月)

市民、関係者とともに大きな方向性を決める意見交換会。

○油の活用方法 ○効果的な回収方法

○市民をどのように巻き込んでいくか。ムーブメントの起こし方。

◇ 2期 (28.8～11月頃)

市や関係団体のイベント（環境フェスタ、境マルシェ、ごちそうフェスタ他）でPR及び回収を行う。

※ごみアプリ、SNS、ホームページ等を活用した情報発信

◇ 3期 (28.12月以降)

市内をフィールドにして廃油回収の実証

公共施設での常時改修、民間改修スポットとの連携、
廃食用油の活用方法の検討

市民・市民団体・事業者と一緒にエネルギーの地産地消・
スマートシティ化に向けて取り組むムーブメントを起こす。

1期の意見交換の中であがった意見

廃油の活用方法

- ◆ B D Fとしてムーバスでの利用
京都市（市バス、ごみ収集車として使用）
- ◆ 発電のための燃料として利用
イベントでの電源用
イルミネーションの電源
- ◆ 石鹼として利用
豊島区では学校や公共施設に導入 …等

効果的な回収方法

- ◆ 集める場所
コミセン、ヨーカードー、その他店舗、
商店街、マンション、集団回収場所
…等
- ◆ 時間、頻度
いつでも出せる方が便利 …等
- ◆ 手法
ペットボトルでの回収
こぼしにくい容器の開発
宅配便やネット便を活用
インセンティブの付与 …等

イベントでの回収状況

境マルシェ ～9/4 9～11時 境南ふれあい広場公園～

■回収量

71kg 35人が持ち込み 容器にして103本分

■回収をしてみて

- 廃油回収事業を行っていることへの認知度が低い。
⇒**認知度の向上が課題**
- 回収の日程が合わない・容器ごと回収だと出しやすく便利という声
⇒**廃油を出しやすい方式の検証が必要**
- 今回環境と廃油回収の関連の説明はあまりできていない。
⇒**環境配慮への関心をより高められるよう工夫をする**



10月は環境フェスタ、11月のごちそうフェスタで事業PRを兼ねた回収を実施。

使用済 (37本)



他、使い切れずに期限切れの油が23本、持ち込まれた。

未使用 (43本)



環境政策課